基礎目標	風土に根ざした産業をつくる	第1四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	町内総生産	億円	538(H29)	559(R3)	523(R1)	△12
政策1	①mashipo カード会員数（町内）	人	720	16,800	15,880	+529
	②誘致企業数	—	0	1	2	±0
	有効求人倍率	—	0.77	0.80	0.79	+0.06
	③起業支援補助金利用件数（累計）	件	26	34	37	+6
政策2	④益子焼総販売額	億円	23(R1)	25(R4)	20(R4)	△3
	①新規就農者数（累計）	人	28	43	42	+5
	②「食の学校」（仮）新商品数（累計）	—	未実施	5	8	+7
政策3	③市町村別農業産出額	億円	34	36.6(R4)	28.0(R3)	△3.4
	①観光客入込数	万人	291	250	248(R4)	+62
	観光客宿泊者数	人	47,550	40,000	39,143(R4)	+12,719
	②mashipo カード会員数（町外）	人	900	12,000	9,964	+1,091
	ツアー参加者数（累計）	人	未実施	1,320	45	+37

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①ポイントカード協議会において、mashipo カードの事務局機能を7月から（一社）ましこラボへ移管することを決定した。町内会員数は、前年同期対比529人増加し、15,880人となった。</p> <p>②産業団地整備予定地の大口地権者に対して計画概要を説明すると共に、意見交換・意向確認等を行った。また、企業誘致に関する奨励措置内容の見直しに着手した。令和5年5月時点の有効求人倍率は0.79となり、前年同期比で0.06改善した。求職者向けのスキルアップセミナーとしてビジネスパソコン活用講座を開催し、15名が参加した。</p> <p>③起業支援補助金利用件数は、審査会で新たに3件を認定し、累計で37件となり順調に推移している。また、中小企業振興資金は12件の申込となった。益子本通り活性化協議会を設立し、住民説明会を開催した。</p> <p>④益子焼総販売額は、令和4年度の統計が公表され20億円となり、令和1年度から3億円の減少となった。益子焼を含めた町の観光資源の一元的な発信を目的とした観光公式Instagramのフォロワー数は約27千人となった。</p> <p>2 ①新たに2人が認定新規就農者となり、新規就農者数累計は42人で前年同期対比5人の増加となった。農の学校では、二期生11組16人の受講生を迎え、実習と座学がスタートした。</p> <p>②食の学校で新たに開発された商品の数は、前年同期対比7件プラスの8件となった。</p> <p>③販路開拓支援補助金や農業新技術新品種研修費補助金等の交付要綱を整備した。</p> <p>3 ①（一社）ましこラボが、観光庁の補助事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に申請し採択となった。また、観光関連団体の連携強化及び重複業務の統合を目的とした観光実務者会議を定期的で開催した。</p> <p>②mashipo カードの町外会員数は、前年同期対比1,091人増加し、9,964人となった。</p>	<p>1 ①事務局機能の移管については、資金決済を含めた業務の引継ぎを確実に行っていく。mashipo カードの電子マネー化を含めた新システムへの移行については、先進地視察や研究調査を進めていく。</p> <p>②産業団地の整備では、大口地権者との協議を継続すると共に、その他の地権者に対する説明会の開催に向けて準備していく。また、企業誘致に関する奨励措置については、他市町の状況も参考にしながら、見直し内容を検討していく。引き続き求職者向けセミナー等を開催し、有効求人倍率の向上に取り組んでいく。</p> <p>③起業に関する相談が継続的に寄せられるなど起業意欲の高さが窺える状況であり、引き続き制度の周知に努めていく。益子本通り活性化協議会では、住民説明会で出された意見・要望等を取りまとめていく。</p> <p>④益子焼総販売額が長期に亘り低下傾向にあることから、本年度の新規事業である「地場産業育成補助金」の周知を図り、若手作家の育成や独立に向けた支援を強化していく。観光公式Instagramのフォロワーの更なる増加を目指していく。</p> <p>2 ①農の学校では、卒業した一期生や西洋野菜研究会との交流を促進していく。星の宮地区の土地改良事業は、令和6年度の事業採択に向けて、地域計画の策定を進めていく。</p> <p>②食の学校では、農産物加工品開発に向けた加工技術や衛生管理等のセミナーを開催していく。</p> <p>③販路開拓支援補助金など新たな補助金の周知を図り、早期に交付できるよう取り組んでいく。</p> <p>3 ①観光庁の補助事業に参画した町内13事業者の個別事業計画の確実な実施に向けて、（一社）ましこラボが中心となって事業者支援をしていく。実務者会議を定期的で開催し、重複業務を洗い出し、統合の在り方を検討・実施していく。</p> <p>②引き続き購買データの分析を行い、町内循環型経済の推進に活用していく。</p>

基礎目標	風土に根ざした産業をつくる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	町内総生産	億円	538(H29)	559(R3)	507(R2)	△16
政策1	①mashipo カード会員数（町内）	人	720	16,800	15,922	+495
	②誘致企業数	—	0	1	2	±0
	有効求人倍率	—	0.77	0.80	0.80	+0.05
	③起業支援補助金利用件数（累計）	件	26	34	39	+7
政策2	④益子焼総販売額	億円	23(R1)	25(R4)	20(R4)	△3
	①新規就農者数（累計）	人	28	43	44	+4
	②「食の学校」（仮）新商品数（累計）	—	未実施	5	8	+3
政策3	③市町村別農業産出額	億円	34	36.6(R4)	28.0(R3)	△3.4
	①観光客入込数	万人	291	250	248(R4)	+62
	観光客宿泊者数	人	47,550	40,000	39,143(R4)	+12,719
	②mashipo カード会員数（町外）	人	900	12,000	10,190	+978
	ツアー参加者数（累計）	人	未実施	1,320	60	+52

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①mashipo カードの事務局機能を7月から（一社）ましこラボへ移管した。町内会員数は、前年同期対比495人増加し、15,922人となった。</p> <p>②産業団地整備予定地の用地買収に向けて、県土地開発公社と具体的なプランについて協議した。また、企業等誘致審議会において企業等誘致条例施行規則の一部改正を行った。令和5年8月時点の有効求人倍率は0.80となり、前年同期比で0.05改善した。求職者・起業者向けのスキルアップセミナーを6回開催し、延べ35名が受講した。</p> <p>③起業支援補助金利用件数は、審査会で新たに1件を認定し、累計で39件となり順調に推移している。中小企業振興資金は10件の申込となった。また、若手経営者の資質向上と連携を目的に、次世代経営協議会（設立時会員32人）を設立した。</p> <p>④益子焼総販売額が落ち込む中、次世代の益子焼産地を担う若手作家の支援を目的に「地場産業育成補助金」を設けた。益子焼を含めた町の観光資源の一元的な発信を目的とした観光公式Instagramのフォロワー数は約31千人となった。</p> <p>2 ①新たに2人が認定新規就農者となり、新規就農者数累計は44人で前年同期対比4人の増加となった。また、2件の新規就農相談があった。農の学校は5回開催した。</p> <p>②食の学校で新たに開発された商品の数は、前年同期対比3件プラスの8件となった。</p> <p>③地産地消の取組として、(有)松廼家に対して益子産の米を使用して貰うよう交渉を開始した。</p> <p>3 ①益子まるごとクーポン事業の販売が開始され、売れ行きは好調である。また、観光関連団体の連携強化及び重複業務の統合を目的とした観光実務者会議を定期的に開催し、紙媒体パンフレットの統合・整理に着手した。</p> <p>②mashipo カードの町外会員数は、前年同期対比978人増加し、10,190人となった。</p>	<p>1 ①mashipo カードの電子マネー化を含めた新システムへの移行について、地域通貨電子マネー化準備検討委員会を立ち上げ、先進地視察を行っていく。</p> <p>②産業団地の整備では、土壤汚染調査結果を踏まえて自然環境調査・基本計画策定・用地測量業務等に取り組んでいく。企業誘致に関する奨励措置については、他市町の状況も参考にしながら、引き続き見直し内容を検討していく。また、求職者・起業者向けセミナー等を開催し、有効求人倍率の向上に取り組んでいく。</p> <p>③起業に関する相談が継続的に寄せられるなど起業意欲の高さが窺える状況であり、引き続き制度の周知に努めていくと共に、新たに創業支援メニューの整備を検討していく。また、次世代経営協議会ではセミナーと先進企業視察を実施していく。</p> <p>④益子焼総販売額が長期に亘り低下傾向にあることから、本年度の新規事業である「地場産業育成補助金」の周知を図り、若手作家の育成や独立に向けた支援を強化していく。観光公式Instagramのフォロワーの更なる増加を目指していく。</p> <p>2 ①土地改良事業では、小泉・本沼地区の入山工区で工事に着手していく。星の宮地区では、令和6年度の事業採択に向けて、地元役員と協力して権利者から本同意等を取り付けていく。</p> <p>②食の学校では、新たに受講生を募集し、町内産農産物を使用した加工品を開発していく。</p> <p>③コト禍で中断していた茨城交通の貨客混載事業の再開について、関係者と調整をしていく。</p> <p>3 ①（一社）ましこラボの「候補DMO」から「登録DMO」への登録替えを目指して、観光庁への申請準備を進めていく。また、実務者会議を継続的に開催し、予算措置も含めて令和6年度からの紙媒体パンフレットの整理・統合を目指していく。</p> <p>②引き続き購買データの分析を行い、町内循環型経済の推進に活用していく。</p>

基礎目標	風土に根ざした産業をつくる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	町内総生産	億円	538(H29)	559(R3)	507(R2)	△16
政策1	①mashipo カード会員数（町内）	人	720	16,800	16,045	+575
	②誘致企業数	—	0	1	2	±0
	有効求人倍率	—	0.77	0.80	0.98	+0.16
	③起業支援補助金利用件数（累計）	件	26	34	40	+5
政策2	④益子焼総販売額	億円	23(R1)	25(R4)	20(R4)	△3
	①新規就農者数（累計）	人	28	43	45	+5
	②「食の学校」（仮）新商品数（累計）	—	未実施	5	8	+2
政策3	③市町村別農業産出額	億円	34	36.6(R4)	28.0(R3)	△3.4
	①観光客入込数	万人	291	250	248(R4)	+62
	観光客宿泊者数	人	47,550	40,000	39,143(R4)	+12,719
	②mashipo カード会員数（町外）	人	900	12,000	10,423	+1,048
	ツアー参加者数（累計）	人	未実施	1,320	60	+27

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1①地域通貨電子マネー化検討委員会を立ち上げ、先進地視察を行った。町内会員数は、前年同期対比575人増加し、16,045人となった。</p> <p>②産業団地整備予定地の土壤汚染調査業務を発注した。令和5年11月時点の有効求人倍率は0.98となり、コト禍から穏やかな回復傾向にあり、前年同期比では0.16改善した。求職者・起業家向けのスキルアップセミナーを8回開催し、延べ74名が受講した。</p> <p>③起業支援補助金利用件数は、審査会で新たに1件を認定し、累計で40件となり順調に推移している。中小企業振興資金は15件の申込となった。また、若手経営者の資質向上と連携を目的に設立した次世代経営協議会のセミナーを計画通り2回開催した。令和6年度からのチャレンジショップでの新たな出店者を決定した。</p> <p>④次世代の益子焼産地を担う若手作家の育成支援を目的に設けた「地場産業育成補助金」の交付決定は10件、2,568千円となった。</p> <p>2①新たに1人が認定新規就農者となり、新規就農者数累計は45人で前年同期対比5人の増加となった。また、2件の新規就農相談があった。農の学校は7回開催した。</p> <p>②食の学校で「売れる加工品のマーケティング」についてセミナーを開催した。（参加者：8名）</p> <p>③株式会社ましこカンパニーが主体となり、大田区の大林寺において益子産農産物の外販事業を実施した。</p> <p>3①インバウンド誘客事業において、モデルートの作成を目的とした外国人によるモニターツアーを実施した。町の観光資源の一元的な発信を目的とした観光公式インスタグラムのフォロワー数は35千人を超え、その年間経済効果を7.9億円と推計した。益子駅周辺の観光関連サインの統一化を図った。</p> <p>②mashipo カードの町外会員数は、前年同期対比1,048人増加し、10,423人となった。</p>	<p>1①地域通貨電子マネー化検討委員会による先進地視察を継続実施し、mashipo カードの電子マネー化を含めた新システムへの移行について検討していく。</p> <p>②産業団地の整備では、土壤汚染調査結果を踏まえて用地買収に向けた準備を進めていく。企業誘致に関する奨励措置については、他市町の状況も参考にしながら、引き続き見直し内容を検討していく。また、3町合同就職面接会を開催し、有効求人倍率の向上に取り組んでいく。</p> <p>③起業に関する相談が継続的に寄せられるなど起業意欲の高さが窺える状況であり、引き続き制度の周知に努めていくと共に、新たに創業支援メニューの整備を検討していく。また、次世代経営協議会ではセミナーと先進企業視察を実施していく。チャレンジショップ 卒業者に対して、商工会と連携して町内での早期開業に向けて支援をしていく。</p> <p>④「地場産業育成補助金」の周知を引き続き図り、若手作家の育成や独立に向けて支援を強化していく。</p> <p>2①農業戦略会議を立ち上げてから1年が経過し4回の会議を開催してきたが、これまでの議論を踏まえた農業戦略案を事務局にてとりまとめ、次回の会議で議論していく。</p> <p>②食の学校では、1月の加工技術に関するセミナーを皮切りに、試作品から完成品へと仕上げていく。</p> <p>③茨城交通の貨客混載事業再開に向けて、農産物買取事業者を対象に圃場見学会を実施していく。</p> <p>3①（一社）ましこラボの「候補 DMO」から「登録 DMO」への登録替えを目指して、観光庁への申請を行っていく。各分野の事業者と町で構成される実務者会議を通じて、地域一体となった観光地づくりと観光公式インスタグラムのフォロワーの更なる増加を目指していく。</p> <p>②引き続き購買データの分析を行い、町内循環型経済の推進に活用していく。</p>

基礎目標	風土に根ざした産業をつくる	第4四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	町内総生産	億円	538(H29)	559(R3)	507(R2)	△16
政策1	①mashipo カード会員数（町内）	人	720	16,800	16,032	+214
	②誘致企業数	—	0	1	2	±0
	有効求人倍率	—	0.77	0.80	0.77	△0.05
	③起業支援補助金利用件数（累計）	件	26	34	41	+6
政策2	④益子焼総販売額	億円	23(R1)	25(R4)	20(R4)	△3
	①新規就農者数（累計）	人	28	43	45	+5
	②「食の学校」（仮）新商品数（累計）	—	未実施	5	8	±0
政策3	③市町村別農業産出額	億円	34	36.6(R4)	29.1(R4)	+1,1
	①観光客入込数	万人	291	250	255	+7
	観光客宿泊者数	人	47,550	40,000	35,885	△3,258
	②mashipo カード会員数（町外）	人	900	12,000	11,140	1,448
	ツアー参加者数（累計）	人	未実施	1,320	145	+100

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1①地域通貨電子マネー化検討委員会で先進地視察を行った。半額ポイントバックキャンペーンや新規加盟希望者向け説明会を実施した。町内会員数は前年同期対比214人増加し、16,032人となった。</p> <p>②産業団地の整備では、土壤汚染調査の結果、開発予定地の土壤に問題がない事が確認された。令和6年2月時点の有効求人倍率0.77となり、前年同期比0.05下回った。3町合同就職面接会・企業説明会を開催し、22事業所・26名の求職者が参加した。</p> <p>③起業支援補助金利用件数は、審査会で新たに1件を認定し、累計で41件となり順調に推移している。中小企業振興資金は24件の申込となった。また、若手経営者の資質向上と連携を目的に設立した次世代経営協議会では、セミナー等計画通りに実施し今年度の事業を終了した。チャレンジショップでは第2期の新たな出店者が入居となった。</p> <p>④次世代の益子焼産地を担う若手作家の育成支援を目的に設けた「地場産業育成補助金」の交付決定は2件、1,000千円となった。</p> <p>2①新規就農者数累計は45人で前年同期対比5人の増加となった。また、2件の新規就農相談があった。農の学校は今期3回、通算20回開催し10名が卒業した。</p> <p>②食の学校では、セミナーを今期5回、通算6回開催し、延べ参加者は25名。</p> <p>③地産地消の取組として(有)松廻家が益子産の米を使用した弁当の販売を開始した。</p> <p>3①(一社)ましこホムが観光庁から「登録DMO」として認定された。また、観光庁の「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」に採択された。</p> <p>②mashipo カードの町外会員数は、前年同期対比1,448人増加し11,140人となった。ランキングパッケージや観光庁補助事業ツアーの実施により、ツアー参加者数は前年同期対比100人プラスの145人となった。</p>	<p>1①地域通貨電子マネー化検討委員会による先進地視察を踏まえて、mashipo カードの他に地域通貨マッシーやプレミアム商品券も含めた電子化による新システムへの移行について検討していく。</p> <p>②産業団地の整備では、土壤汚染調査結果を踏まえて令和6年度に基本計画を策定していく。また、企業誘致に関する奨励措置等について、引き続き見直しに向けて内容を検討していく。求職者向けセミナーについては、参加者のアンケート結果も踏まえた新たなカリキュラムで開催していく。</p> <p>③起業に関する相談が継続的に寄せられるなど起業意欲の高さが窺える状況であり、引き続き制度の周知に努めていくと共に、新たに起業支援メニューを整備していく。また、次世代経営協議会では令和5年度の事業内容を総括したうえで、令和6年度の事業を実施していく。益子本通り事業は、国庫事業に向けて具体的に検討していく。</p> <p>④「地場産業育成補助金」の周知を引き続き図り、若手作家の育成や独立に向けて支援を強化していく。</p> <p>2①農の学校の卒業生が町内で就農できるよう、農地や住居などの紹介を行っていく。土地改良事業では、里西・星の宮地区で県営事業として5月に着手予定であり、町の支援を継続していく。</p> <p>②食の学校で開発された商品の販売支援を行っていく。</p> <p>③(株)ましこカンパニーが主体となり、大田区の大林寺での益子産農産物外販事業の準備を進めていく。</p> <p>3①(一社)ましこホムが「登録DMO」として認定されたことから、各種補助金の活用も含めて地域経営の役割を今まで以上に担っていくと共に、活動状況等の広報・PRを強化していく。</p> <p>②引き続き購買データの分析を行い、町内循環型経済の推進に活用していく。ツアー参加者数については、国内誘客と併せてインバウンド誘客事業の取組も強化していく。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課					
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる		政策	しごとの創出と町内産業の活性化				
施策	町内循環型経済の推進		進捗状況	100%				
関連する優先目標	3「仕事のあるまち」		関連するSDGs	7エネルギー				
KPI	mashipoカード会員数(町内)		本年度目標値	16,800	現状値	16,032	人 対前年同期比 +214	
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比	
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月		④R4年度決算作業を行った。					
	5月	④mashipo の活用	④5月16日に監査・役員会を行い、29日に総会を実施した。					
	6月		④ましこラボへの事務引継ぎのための打合せを行った。					
	7月		④7月19日に役員会を開催。8月実施予定キャンペーンの内容を検討					
	8月	④mashipo の活用	④8月11日～8月31日まで3倍ポイントキャンペーンを実施。					
	9月		④9月26日に役員会を開催。キャンペーン実績報告、電子マネー化の検討を行った。					
	10月		③mashipo、マッシン、プレミアム商品券統合に関する検討委員会事前打合せの実施(10/10)。 ③(仮称)地域通貨電子マネー化準備検討委員会の実施(10/27)。現状課題の整理や視察研修先の検討を行った。					
	11月	③mashipoの電子マネー化 ④mashipo の活用	③電子地域通貨に関して群馬県沼田市の取組を視察研修(11/28)。 ④11/21に役員会実施。冬季キャンペーンの内容について検討。					
	12月		③地域通貨電子マネー化準備検討委員会を開催し、沼田市視察研修の振り返り及び次回視察研修候補(北海道東川町)の事前研究を実施(12/14)。 ④3倍ポイントキャンペーン実施(12/15～100万P終了次第)					
	1月		③電子地域通貨に関して北海道東川町の取組を視察研修(1/25～26)。 ④1/17に役員会を開催し、新規加入の取組やキャンペーン等について協議。					
	2月	③mashipoの電子マネー化 ④mashipoの活用	③電子地域通貨に関して、芳賀町の取組を視察機演習(2/20) ④2/16に役員会を開催し、新規加入の取組やキャンペーン等について協議。					
	3月		③地域通貨電子マネー化準備検討会を開催(3/25)。視察研修の振り返りや今後の検討等を実施。バンダーヒアリングの実施(3/27) ④全員半額ポイントバックキャンペーン実施(3/17～31)。 新規加入希望者向け説明会を実施(3/26～27)。					

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>④一般社団法人ましこラボへ事務局を移行して、mashipo新システムの調査研究を本格化します。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>④(一社)ましこラボで事務j作業開始、新システムの事例等収集した。次期四半期に(仮称)地域通貨電子マネー化準備検討委員会を立ち上げ、先進地視察研修を実施していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>③地域通貨電子マネー化準備検討検討委員会を立ち上げ、先進地視察研修を行った。次期四半期以降も先進地視察研修を予定し、電子マネー化の知見を深めていく。 ④年未年始にキャンペーンを実施することで、mashipoのPR、域経済の活性化を図る。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>③④現在のシステムの運用・PRを行っていきながら、新しいシステム導入に向けた研究・検討も併せて実施していき、町内経済循環や商店街の活性化を図っていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 mashipoカードについて、KPIがカード会員数になっているので、その達成のための事業になるのは理解できるが、店舗会員にとっての魅力が少ないため、退会店舗が増えつつあるのは問題だと思う。店舗会員にとっての魅力をあらためて考える必要がある。</p>	<p>令和5年10月より電子マネー化準備検討委員会を組織し、mashipo、マッシ(ましこスマイル通貨)、プレミアム商品券の統合、電子マネー化に係る検討を、令和7年度の新システム実装に向け進めている。新システムにおいては、デジタル化により、加盟店・会員・事務局それぞれに魅力があるシステムを目指している。</p> <p>現在のmashipoは発展的解消を想定しているが、新システムへの移行にあたり加盟店・会員に支障のないよう配慮していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	観光商工課				
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる	政策	しごとの創出と町内産業の活性化				
施策	令和の時代・益子の特性に合った企業誘致の推進	進捗状況	100%				
関連する優先目標	3「仕事のあるまち」	関連するSDGs	8働きがい・経済成長	9産業・技術			
KPI	誘致企業数	本年度目標値	0	現状値	2	対前年同期比	±0
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.8	現状値	0.77	対前年同期比	△0.05
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月	①産業団地の整備の推進及び既存用地を活用した企業誘致	①産業団地開発事業計画の策定 ②企業誘致条例の見直し着手、企業誘致推進 ③金融機関・ゼネコンからの情報集を実施 ④セミナーの日程調整やチラシ作成				
	5月	②企業誘致条例の見直し、企業誘致の推進 ③研究開発系を中心に、新事業機会を創出する企業誘致を目指す。	①県土地開発公社訪問・事業計画・推進の相談 ②企業誘致条例の見直し案の骨子策定、企業誘致推進 ③金融機関・ゼネコンからの情報集を実施 ④セミナーの日程調整やチラシ作成				
	6月	④町民の雇用の場を創出する。	①産業団地開発用地交渉の実施 ②企業誘致条例の見直し案を策定、企業誘致推進 ③金融機関からの情報集を実施 ④当地進出企業訪問、雇用支援奨励金PR ⑤セミナー開催(4回)、3町合同就職面接会第1回打合せ				
	7月	①産業団地の整備の推進及び既存用地を活用した企業誘致	①産業団地用地買収に関し必要な調査等の再確認 ②3月実施にの企業等誘致審議会の指摘事項の、規則の一部改正案を策定 ③金融機関・ゼネコンからの情報集を実施 ⑤セミナー開催(2回)				
	8月	②企業等誘致条例施行規則の一部改正案作成 ③研究開発系を中心に、新事業機会を創出する企業誘致を目指す。	①産業団地土地の土壤汚染調査準備 ②企業等誘致審議会の開催、規則の位置改正を実施 ③金融機関からの情報集を実施 ⑤セミナー開催(2回)				
	9月	④町民の雇用の場を創出する。	①産業団地開発の基本設計業務の準備実施 ②他市町の企業誘致条例の情報を収集、見直し案を改善。 ③金融機関からの情報集を実施 ⑤セミナー開催(2回)				
	10月	①産業団地の整備の推進及び既存用地を活用した企業誘致	①HOYA(株)所有の設備に関する意向を確認。土壤調査への協力を依頼。 ②企業誘致条例に関し、他県他市町条例に関する情報収集。 ③金融機関・ゼネコンからの情報集を実施 ⑤セミナー開催(2回)				
	11月	②企業誘致条例の新たな骨子、案の作成準備 ③研究開発系を中心に、新事業機会を創出する企業誘致を目指す。	①産業団地土地の土壤汚染調査入札の実施 ②新たな企業誘致条例の骨子を作成 ③金融機関からの情報集を実施 ⑤セミナー開催(4回)				
	12月	④町民の雇用の場を創出する。	①3月予定の事前環境調査業務、測量業務、基本設計業務の準備実施 ②策定した骨子を基に新たな条例(案)を策定 ③金融機関からの情報集を実施 ⑤セミナー開催(2回)				
	1月	①産業団地の整備の推進及び既存用地を活用した企業誘致	①土壤汚染調査完了。汚染なしを確認 ②策定した企業誘致条例(案)の見直し・修正を実施 ③金融機関からの情報集を実施				
	2月	②企業誘致条例の新たな骨子、案の作成準備 ③研究開発系を中心に、新事業機会を創出する企業誘致を目指す。	①3月予定の自然環境調査業務、測量業務、基本設計業務の設計書、特別会計等の作成 ②策定した企業誘致条例(案)に関連する様式作成 ③金融機関からの情報集を実施 ⑤2月2日に3町合同就職面接会・企業説明会を開催				
	3月	④町民の雇用の場を創出する。	①基本設計業務は来期、基本設計の状況を鑑み、自然環境調査業務、測量業務は実施時期を決定 ②策定した企業誘致条例(案)に関連する様式作成 ③金融機関からの情報集を実施				

③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等	
第1 四半期	<p>①産業団地整備予定地の7割ほど所有するHOYA(株)に産業団地の整備予定計画を説明し、用地売却の意向を確認した。</p> <p>②企業誘致条例に関しては見直しに向けて他市町の状況を確認した。また、企業情報を収集し企業の誘致に努めた。</p> <p>③金融機関や企業を訪問し、研究開発系企業進出のニーズ・企業誘致の情報収集をした。引き続き情報収集に努め、研究開発系を中心に新事業機会を創出する企業誘致を目指す。</p> <p>④当地へ進出した企業を訪問、新規雇用に繋がるよう雇用支援奨励金のPRを実施した。</p> <p>⑤ビジネスパソコン基礎講座を開催した。また次回のセミナー実施に向け募集を行い、開催に向け準備を行った。引き続き求職者のスキルアップを図り就職に繋がるようセミナーを開催する。</p>
第2 四半期	<p>①産業団地開発の用地買収・事業推進に向け、公社からのアドバイスにより、土壤汚染調査、基本設計の見積書取得、実施同等の準備を進めた。用地に買収金額に関しては、鑑定評価をもとに買収価格案を策定、土壤調査結果後の買収交渉に向けた準備を進めた。</p> <p>②3月に実施した企業等誘致審議会の指摘を受け、同規則の一部改正について委員会を開催し、規則の一部改正を実施した。また、企業誘致条例に関し、他県他市町の条例の情報を収集し、見直し案の改善を実施した。</p> <p>③金融機関や企業を訪問し、研究開発系企業進出のニーズ・企業誘致の情報収集をした。引き続き情報収集に努め、研究開発系を中心に新事業機会を創出する企業誘致を目指す。</p> <p>④当地へ進出した企業を訪問、新規雇用に繋がるよう雇用支援奨励金のPRを実施した。</p> <p>⑤求職者・起業者向けのスキルアップセミナーを計6回開催し、就職・起業希望者のスキルアップを支援した。次期四半期以降もスキルアップセミナーを開催し支援する。</p>
第3 四半期	<p>①産業団地開発の用地買収・事業推進に向け、HOYA(株)と面談、井戸設備の土地については売却対象外となることを確認した。また、土壤調査に関しての協力を要請、快諾を得た。土壤調査の実施伺、設計書を作成、11月に契約、調査対象地の地権者からの同意書を徴求し、12月に調査を実施した。また、年度内予定の委託業務に関し、実施に向け準備を実施した。</p> <p>②企業誘致条例に関し、他県他市町条例に関する収集した情報を活用し、新たな条例の骨子、案を策定、条例改正に向けた準備を着実に進めた。</p> <p>③金融機関や企業を訪問し、研究開発系企業進出のニーズ・企業誘致の情報収集をした。引き続き情報収集に努め、研究開発系を中心に新事業機会を創出する企業誘致を目指すとともに、情報を活用し、進出企業、町内企業への支援を図る。</p> <p>④当地へ進出した企業を訪問、新規雇用に繋がるよう雇用支援奨励金のPRを実施した。</p> <p>⑤求職者・起業者向けのスキルアップセミナーを計8回開催し、就職・起業希望者のスキルアップを支援した。次期四半期には3町合同就職面接会を開催しセミナー参加者その他の就職を支援する。</p>
総括 (第4 四半期 含)	<p>①土壤汚染調査業務を実施し、産業団地開発予定地に汚染がないことを確認した。その結果に基づき、自然環境調査、測量、基本設計業務等を進めたが、期を跨ぐ業務であり、基本設計の精緻な事業収支を確認後の対応が妥当と判断、末期に基本設計業務を実施し、その結果を踏まえ、自然環境他の業務を進めることとなった。</p> <p>②企業誘致条例に関し、他県他市町条例に関する収集した情報を活用し、新たな条例の骨子、案を策定、それに関連する様式、規則等の案も作成、条例改正に向けた準備を着実に進めた。</p> <p>③金融機関や企業を訪問し、研究開発系企業進出のニーズ・企業誘致の情報収集をした。引き続き情報収集に努め、研究開発系を中心に新事業機会を創出する企業誘致を目指すとともに、情報を活用し、進出企業、町内企業への支援を図る。</p> <p>④3町合同就職面接会・企業説明会を開催し、事業所22社、求職者26名が参加し、町内事業所が3名採用、うち町内求職者1名の就職につながった。令和6年度は、要望の多いパソコン関連のセミナーを増やすなど工夫を行いながら求職者に向けたセミナーを実施していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 産業団地整備及び企業誘致をできるだけスピーディーに進める必要があるのではないかと。</p>	<p>R6年度は、産業団地開発の基本計画に着手し、土地利用計画図、事業収支、事業スケジュール等を策定し、迅速かつ丁寧な事業推進を実践していく。計画策定までの間、個人地権者の売却意向、相続調査等を進め、次年度以降の用地買収が円滑に進むよう準備を進めていく。</p> <p>産業団地開発の付帯業務として、工場立地法関連の条例、企業誘致条例等の案を作成し、企業誘致が円滑に進められるよう、準備を行う。</p> <p>県の企業立地促進協議会に加入、県への情報発信(含東京事務所)を実施し、迅速な企業誘致に繋がるよう努める。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課					
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる		政策	しごとの創出と町内産業の活性化				
施策	商店街活性化と起業支援		進捗状況	100%				
関連する優先目標	3「仕事のあるまち」		関連するSDGs	—				
KPI	起業支援補助金利用件数(累計)		本年度目標値	34	現状値	41件	対前年同期比	+6
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比	
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比	
			①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①起業支援補助金の周知	①町HP及び窓口案内、補助金問合せ1件 ②融資申込 5件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●益子本通り活性化協議会設立(4/3)、住民説明会開催(4/25)					
	5月	②商工会と連携し、事業者への指導・支援体制の強化、融資制度による支援、次世代経営協議会事業 ③求人情報、空き店舗情報等の情報収集及び発信	①町HP及び窓口案内、補助金問合せ2件 ②融資申込5件、益子町次世代経営協議会セミナー業務委託に係る指名型プロポーザル審査会の実施 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●まちのデザイン研究会の開催(5/15)、ワークショップ開催(5/19)					
	6月	●益子本通りまちづくり活動支援の実施	①審査会の実施(6/7)HP及び窓口案内、補助金問合せ1件 ②融資申込2件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●ワークショップ開催(6/15)、まちのデザイン研究会の開催(6/7,6/29)					
	7月	①起業支援補助金の周知	①町HP及び窓口案内 ②次世代経営協議会発起人会を開催(7/26)、融資申込4件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●益子本通り活性化協議会の開催(7/19,7/26)					
	8月	②商工会と連携し、事業者への指導・支援体制の強化、融資制度による支援、次世代経営協議会事業 ③求人情報、空き店舗情報等の情報収集及び発信 ●益子本通りまちづくり活動支援の実施	①審査会の実施(8/23)HP及び窓口案内、補助金問合せ2件 ②次世代経営協議会設立総会及び基調講演の開催(8/7)、融資申込4件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●要望書の提出(8/3)					
	9月		①町HP及び窓口案内、補助金問合せ3件 ②融資申込2件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●まちのデザイン研究会の開催(9/12)					
	10月	①起業支援補助金の周知	①町HP及び窓口案内 ②次世代経営協議会第2回セミナー(10/3) ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●まちのデザイン研究会の開催(10/5,10/26)					
	11月	②商工会と連携し、事業者への指導・支援体制の強化、融資制度による支援、次世代経営協議会事業 ③求人情報、空き店舗情報等の情報収集及び発信	①審査会の実施(11/21)HP及び窓口案内、補助金問合せ1件 ②次世代経営協議会第3回セミナー(11/8)、融資申込6件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ④R6～7年度使用者審査会を実施(11/22)し、使用者を決定					
	12月	④チャレンジショップの活用 ●益子本通りまちづくり活動支援の実施	①町HP及び窓口案内、補助金問合せ3件 ②融資申込9件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ●まちのデザイン研究会の開催(12/12)					
	1月	①起業支援補助金の周知	①町HP及び窓口案内、補助金問合せ 1件 ②次世代経営協議会第4回セミナー(1/26)、融資申込 7件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置					
	2月	②商工会と連携し、事業者への指導・支援体制の強化、融資制度による支援、次世代経営協議会事業 ③求人情報、空き店舗情報等の情報収集及び発信 ④チャレンジショップの活用 ●益子本通りまちづくり活動支援の実施	①町HP及び窓口案内、補助金問合せ 5件 ②次世代経営協議会優良企業視察(2/21)、融資申込6件 ●2月9日に岩下文隆様宅を訪れ、建物・土地の活用意向を聞き取り					
	3月		①審査会の実施(3/19)、町HP及び窓口案内 ②融資申込 11件 ③月3回役場ホール、道の駅等に求人情報の設置 ④3月14日チャレンジショップ第1期使用者の使用期間終了 3月15日から第2期使用者へ貸し出し開始					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①審査会を開催し、3件認定。引き続き制度の周知に努める。 ②次世代経営協議会セミナーは8月の設立に向け、会員募集を実施していく。 ③引き続き情報収集及び発信を行う。 ●益子本通り活性化協議会の設立、住民説明会併せてアンケートを実施し、課題・要望等ヒアリングした。結果を踏まえ協議会でとりまとめていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①審査会を開催し、1件認定、引き続き制度の周知に努める。 ②次世代経営協議会の設立総会及び基調講演を実施(設立時会員数32人)。次期四半期以降、セミナーや優良企業視察を行い町内若手経営人財の能力向上や協業の機運向上を図っていく。 ③引き続き情報収集及び発信を行う。 ●協議会員が要望書を取りまとめ町長あてプレゼンテーションを行った。それを受け、都市再生整備計画事業等予算計上する事業については精査を行い、事業実施に向け取り組んでいく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①審査会を開催し、1件認定、引き続き制度の周知に努める。 ②次世代経営協議会の第2回(10/3)及び第3回(11/8)セミナーを開催。 ③引き続き情報収集及び発信を行う。 ④R6年度の開業に向けて助言や支援を行う。また現使用者に対しては、商工会とも連携しながら独立開業に向けた支援を進めて行く。 ●R6年度事業の具体化に向け検討を進める。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①審査会を開催し、1件認定 ②次世代経営協議会は、計4回のセミナー及び優良企業視察を実施し、若手経営者の資質向上や異業種間の交流を図ることができた。令和6年度も、改善を図りながら事業実施していく。 ④チャレンジショップ第1期使用者は、益子本通り沿いの空き店舗を活用し、令和6年4月の独立開業に向け準備中。第2期使用者の経営支援について関係機関と協力し進めて行く。 ●益子本通り事業は、令和6年度に予定される国庫事業に向け、より具体的な検討を行っていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 B:改善・見直し ○ C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 起業支援補助金について、対策事業となるかどうかの判断基準が5項目あるが、どのように審査しているのか疑問です。増やせばいいということではないと思う。そろそろ事業検証する必要があるのではないか。必要とする業種を考えるべきだと思う。</p>	<p>昨年度、補助金交付要綱の改正を行い、年1回の面接を義務付けた。本制度を活用し、事業者支援を充実させていきたい。 業種限定を含めた事業検証については、審査会委員から意見を頂きながら進めていきたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課							
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる		政策	しごとの創出と町内産業の活性化						
施策	世界に誇る手仕事の町づくり		進捗状況	100%						
関連する優先目標	—		関連するSDGs	—						
KPI	益子焼総販売額		本年度目標値	25 (R4)	現状値	20(R4)	億円	対前年同期比	△3	
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月		①かさましこ推奨店を一店一店SNSで紹介(生涯学習課) ②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥滞在作家(ターニャ・ヘルマン、太田剛速)の成果展示を開催中(3/25~6/18)							
	5月	①かさましこのつながりを活用したPR ②販路開拓の支援 ③益子焼や工芸品のあるライフスタイルの発信 ④益子焼や工芸品の利用促進 ⑥益子国際工芸交流館を拠点とし、国内外から手仕事を学びに来る仕組みの構築	⑥H28年度招聘作家のリンダ・ブラシントン氏が再来町(自費)し日下田藍染工房で制作を行った5/20WS開催(8名参加)							
	6月		⑥京都、朝日焼16世松林豊斎氏によるお茶会WSを6/24開催(24名参加)							
	7月		②③④観光公式インスタグラムの活用							
	8月	①かさましこのつながりを活用したPR ②販路開拓の支援 ③益子焼や工芸品のあるライフスタイルの発信 ④益子焼や工芸品の利用促進 ⑥益子国際工芸交流館を拠点とし、国内外から手仕事を学びに来る仕組みの構築	①かさましこ推奨店について、R5年度協賛金の徴収 ②③④観光公式インスタグラムの活用							
	9月		①かさましこ推奨店について、R5年度協賛金の徴収 ②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥リーチ工房副館長マシュー・タイアス氏滞在9/2~9/10講演会を9/9開催(23名参加)							
	10月		②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥公募作家サンドラ・フルツァー氏が滞在10/7~11/21記念講演会の実施10/15(参加者22名) 公募作家石田和也氏が滞在10/25~12/8オープンスタジオの実施10/19、10/26							
	11月	②販路開拓の支援 ③益子焼や工芸品のあるライフスタイルの発信 ④益子焼や工芸品の利用促進 ⑥益子国際工芸交流館を拠点とし、国内外から手仕事を学びに来る仕組みの構築	②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥公募作家サンドラ・フルツァー氏が滞在10/7~11/21、成果展示11/18~19、オーストラリア大使館・文化フォーラム参事官による視察11/16 公募作家石田和也氏が滞在10/25~12/8、記念講演会&制作実演の実施11/11(参加者 25名)、オープンスタジオの実施11/9、11/16、11/23、窯業技術支援センターとの薪窯ワークショップ11/12~14							
	12月		②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥公募作家石田和也氏が滞在10/25~12/8 成果展示12/1~12/3(来場者30名)							
	1月		②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥招聘作家ジュリアン・ステア氏滞在1/17~3/27クロストークの開催1/27(参加者30名) ワークショップの実施2/18							
	2月	②販路開拓の支援 ③益子焼や工芸品のあるライフスタイルの発信 ④益子焼や工芸品の利用促進 ⑥益子国際工芸交流館を拠点とし、国内外から手仕事を学びに来る仕組みの構築	②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥招聘作家ジュリアン・ステア氏滞在1/17~3/27ワークショップの実施2/18(参加者20名)							
	3月		②③④観光公式インスタグラムの活用 ⑥招聘作家ジュリアン・ステア氏滞在1/17~3/27旧濱田庄司邸で成果展示JUKIAN ATAIR"Mr.Hamadada's Walkingを3/17~4/7まで開催							

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>⑥秋の公募事業(オーストリア1名、日本国内1名)、冬の招聘事業(イギリス)の準備を進めていく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>⑥リーチ工房副館長マシュー・タイアス氏の滞在をとおしてリーチ工房と益子町との関係を深めることができた。秋の公募事業(オーストリア1名、日本国内1名)、冬の招聘事業(イギリス)の準備を進めていく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>⑥今回、初めて2名の公募作家の滞在进行を行った。石田氏の薪窯ワークショップでは窯業技術支援センターとの連携が図れた。今後も関係機関との連携を図りたい。</p>
<p>総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②③④観光公式インスタグラムのフォロワー数は順調に増加し、3万7千人を超えているので、効果的に活用していきたい。 ⑥令和5年度は、3名の作家滞当事業(公募2名うち、オーストリア1名、岡山1名、招聘イギリス人1名)を実施した他、染色家のリンダ・ブラシントン氏の再滞在、リーチ工房副館長のマシュー・タイアス氏の滞在等の交流等も実施でき、また、朝日焼16世松林豊斎氏によるお茶WSも開催し、益子の若手陶芸家に新たな世界観を与える事業も開催できた。今後は、R6年度の滞在家の準備及びR7年度の公募作家募集に向けて取り組むとともに、事業がより周知できるように情報発信を図っていきたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 なし</p>	<p>観光公式インスタグラムを効果的に活用し、益子焼や工芸品のPRを実施し、販売額の増を図っていく。 次年度は、国際交流事業の情報発信の周知をより進め、滞在作家との交流や事業への参加に繋がるように図っていきたい。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

課局名		農政課					
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の育成と「食」のまちづくり				
施策	地域の特性に合った農産物の生産体制の整備	進捗状況	100%				
関連する優先目標	3「仕事のあるまち」	関連するSDGs	2 飢餓				
KPI	新規就農者数(平成26年度からの累計)	本年度目標値	43	現状値	45	対前年同期比	+5
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	③新規就農に関する補助金交付3件、新規就農相談1件 ④4/22 農の学校 ⑥4/17 星の宮土地改良推進協議会、4/25 相続関係相談(裁判所)					
	5月	③新規就農促進 ④農の学校の運営 ⑥土地改良事業の推進	③新規就農に関する補助金交付1件、新規就農相談1件、新規就農者1名(うち、認定新規就農者1名) ④5/13、5/27 農の学校 ⑥5/11 小泉・本沼地区土地改良地区委員会、5/23 星の宮土地改良推進協議会・環境配慮部会、5/23 相続関係相談(裁判所)				
	6月		③新規就農に関する補助金交付1件、新規就農相談1件、新規就農者1名(うち、認定新規就農者1名) ④6/10 6/24農の学校 ⑥6/7 小泉・本沼地区地区委員会、6/7 相続関係相談(裁判所)、6/14 小泉・本沼地区現場代理人会議、6/20 星の宮地区土地改良推進協議会、6/23 小泉・本沼地区営農部会				
	7月		① 7/31 農業戦略会議の開催 ③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数1件(農業機械等導入補助1件) ③ 新規就農相談件数1件 ③ 新規就農者数0名 ④ 7/8、7/22農の学校 ⑥ 7/11 星の宮地区打合せ、7/12 小泉・本沼地区現場代理人会議、7/19 星の宮地区公園会議、7/25 星の宮地区土地改良推進会議				
	8月	①農業戦略の作成 ③新規就農促進 ④農の学校の運営 ⑥土地改良事業の推進	③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数1件(農業機械等導入補助1件) ③ 新規就農相談件数1件 ③ 新規就農者数0名 ④ 8/5、8/26農の学校 ⑥ 8/9 土地改良区理事会、8/22 里西・星の宮地区土地改良事業推進会議、8/30 土地改良関係農振編入申請				
主な取組内容	9月		③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数1件(経営開始型1件) ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数0件 ③ 新規就農相談件数0件 ③ 新規就農者数2名(うち、認定新規就農者2名) ④ 9/23 農の学校 ⑥ 9/5 町有施設等編入申請、9/7 国有地等編入申請、9/12 非農用地打合せ、9/13 里西・星の宮地区土地改良事業推進会議、9/19 談話関係打合せ、9/20 里西・星の宮地区土地改良事業説明会				
	10月		③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数0件 ③ 新規就農相談件数1件 ③ 新規就農者数0名 ④ 10/8、14、28 農の学校開催 ⑥ 10/03 談話関係打合せ、芳賀台地送水管事故復旧説明会、10/04 談話関係打合せ、10/11 星の宮地区計画概要公告、10/17 小泉・本沼地区 地区委員会、10/23 星の宮地区耕作者会議、10/24 星の宮地区推進会議、10/30 入山工区現地打合せ				
	11月	①農業戦略の作成 ③新規就農促進 ④農の学校の運営 ⑥土地改良事業の推進	③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数0件 ③ 新規就農相談件数1件 ③ 新規就農者数0名 ④ 11/11、25 農の学校開催 ⑥ 11/02 芳賀台地送水管事故負担金説明会、11/10 農業農村事業要望活動、11/15 小泉・本沼現場代理人会議、星の宮地区公告(2回目)、11/27 星の宮地区推進会議、11/28～30 土地改良区 定期検査				
	12月		①12/14農業戦略会議開催 11名参加 ③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数0件 ③ 新規就農相談件数0件 ③ 新規就農者数1名(うち、認定新規就農者1名) ④ 12/9、23 農の学校開催 ⑥ 12/01 入山区現地立会、12/04 非農用地協議、12/11 小泉・本沼地区委員会、12/12 入山地進入路工事打合せ、12/15 星の宮地区施工申請、12/18 改良区理事会、12/19 小泉・本沼現場代理人会議、営農構想発表会				
	1月		③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数2件 ③ 新規就農相談件数2件 ③ 新規就農者数0名 ④農の学校 1/27 ⑥ 1/10 小泉・本沼地区換地委員会、1/15 星の宮地区推進会議、1/18 小泉・本沼地区現場代理人会議、1/25 南部機場改修打合せ、1/31 国有林野貸付申請				
2月	①農業戦略の作成 ③新規就農促進 ④農の学校の運営 ⑥土地改良事業の推進	③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数0件 ③ 新規就農相談件数0件 ③ 新規就農者数0名 ④ 農の学校 2/10 ⑥ 2/8 土地改良区理事会、2/14 小泉・本沼地区現場代理人会議、2/15 星の宮地区未相続対応(埼玉県)、2/20 星の宮地区推進会議、2/26 星の宮地区農地売買契約					
3月		①3/18 農業戦略会議開催 10名参加 ③ ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数1件 ・新規就農者育成総合対策補助金交付件数6件 ・益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数1件 ③ 新規就農相談件数0件 ③ 新規就農者数0名 ④ 農の学校 3/9 ⑥ 3/1 益子町土地改良区総代会、3/13 小泉・本沼地区現場代理人会議、3/19 星の宮地区推進会議、3/25 星の宮地区土地改良事業計画決定縦覧～4/19					

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>③認定新規就農者2人、新規就農相談3件、新規就農に関する補助金交付5件。新規就農相談は3件については、現在、就農希望者が栽培品目や場所などについて検討している状況である。引き続き、芳賀農振との連携を強化して、就農相談会等を通じて積極的に益子町の就農支援制度をPRし、就農相談件数の増加を図っていききたい。また、認定新規就農者についても、芳賀農振と連携して、青年等就農計画の策定支援を強化するとともに、国庫や町の補助金活用を積極的に促していききたい。</p> <p>④まじこ農の学校は11名の受講生を受け入れ、実習と座学セットで4日間開催した。実習では、ナス・キュウリ・かぼちゃ・ししとう・ピーマン・スイカ・トマトの苗を定植した。また、受講生の希望によりウモロコシや落花生の種も播種したところである。耕起にあたっては農機具の操作も体験した。座学では農業の使用方法や堆肥・肥料など土づくりに関することも学んだ。個人区画圃場の希望者は5名。既に区画割を行い管理されている。受講生はほとんど欠席がなく、熱心に学ぶという姿勢が感じられる。今後は昨年度卒業した1期生や、まじこ西洋野菜研究会との交流も行き、講師以外の方から学べるような機会をつくっていききたい。</p> <p>⑥現在面工事を進めている小泉地区について、2度の短時間豪雨により表土の流出があった。今後も大雨の可能性が考えられるので、県・町・地元地区委員会と連携し表土流出防止対策を図って行く。星の宮地区については地元推進協議会役員の協力を得て、未相続の土地の処理を進めているところである。令和6年度の事業採択に向け、地域計画の策定を進める必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①農業戦略の作成について 今年度策定委員の改選があったことから、7/31の戦略会議においてあらためて、町の農業の状況や課題を説明し、各委員から様々な意見をいただいた。それらのことを踏まえ戦略のコンセプトを打ち出し、担当者レベルで案を作成したところである。現在、農政課内で作成案に対する意見集約を行っているところである。年内には事務局案を各委員に提示し意見を伺う会議を開催する予定である。</p> <p>③新規就農促進 新規就農者数44名(対前年度比+4名) 【増加内訳】 4月0名、5月1名、6月1名、7月0名、8月0名、9月2名 農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件、新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件、益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数0件、新規就農相談件数1件、新規就農者数1名(うち、認定新規就農者2名)。新規就農相談のうち1件は、壬生町から益子町への移住検討者であり、大沢地区にて新規で果樹(ぶどう)栽培を予定している。第1～第2四半期については、就農相談会等の参加ができず、積極的に益子町の就農支援制度をPRできなかったことから、第3四半期以降は積極的に農業関係イベントへ出席し益子町の農業をPRし、新規就農相談件数の増加及び新規就農者数の確保を図っていききたい。</p> <p>④まじこ農の学校について 座学については、有機農業に関する研修やオンライン販売、POPセミナー、加工品開発(まじこカンパニー加工部門担当)に関する研修を開催し、農業生産だけでなく加工、販売まで裾野を広げ収益につながる分野まで学んだ。 実習においては、春に植栽したナス・キュウリ・かぼちゃ・ししとう・ピーマン・スイカ・トマト・ウモロコシ・落花生を管理してきたが、猛暑により実りが悪い(作物(トウモロコシ)もあった。今年は雑草の繁茂が著しく、草取りの管理に課題が生じた。雑草繁茂の状況や作物収穫のタイミングを逃さないために、今後は開催日以外の日においても定期的に確認する必要がある。座学で学んだことは10月に道の駅でマルシェ販売体験があるのでその場において、実践活用する予定である。</p> <p>⑥小泉・本沼地区で第1四半期にあった土砂流出については、法面保護や作付け等により大雨が降っても土砂の流失はなくなった。また、10月からは入山工区が着手されるため、関係機関と一緒に工事を進めていく。 里西・星の宮地区土地改良事業については、令和6年度の採択申請に向け、地元役員と協力し10月から各同意等を取っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①農業戦略の作成について 益子町における農業の今後について、期待される姿や課題解決のための対応策など、各委員から意見を伺った。また、宇都宮大学 農学部 西山教授からローカルフードシステムを中心とした、農と食の未来戦略が提案され、それらの内容を踏まえて、事務局が農業戦略案を策定し次回の会議に委員から意見を伺う。</p> <p>③新規就農促進 新規就農者数45名(対前年度比+5名) 【増加内訳】 4月0名、5月1名、6月1名、7月0名、8月0名、9月2名、10月0名、11月0名、12月1名 ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数0件、新規就農者育成総合対策補助金交付件数0件、益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数0件、新規就農相談件数2件、新規就農者数1名(うち、認定新規就農者1名)。 ・新規就農相談2件のうち、1件は益子町在住者で長堤でいちご栽培を検討しており、1件は益子町への移住検討者であり、声沼地区で桑の葉栽培を検討している。 ・今後開催予定の農業関係イベント(新農業人フェア、新規就農相談会等)へ参加して、新規就農相談件数及び新規就農者数の増加を図っていききたい。</p> <p>④農の学校について 実習では秋・冬野菜(だいこん、かぶ、ブロッコリー、キャベツ)の栽培や農薬散布、耕うん機操作などを行った。また、道の駅周年祭果樹まつりに参加し、町内果樹生産者と共にマルシェ販売体験を行った。 座学では、農地法について学習した。 その他、小泉さつまいも収穫体験、加工所見学、岩村農園見学、町内農業用施設見学、農と食のツアーの開催など、幅広い分野で益子の魅力を学ぶことができた。</p> <p>⑥小泉・本沼地区では、入山工区の請負業者が決定し、着工した。合わせて入山池進入路修繕工事を町で発注し、国有林施工承認申請等を速やかに行う。 里西・星の宮地区では、11月から採択申請にかかる同意書を徴収しており、要件(2/3)を要件を満たしているが、法人社長の所在が不明なため引き続き調査を行い、同意書を徴集する。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期含)</p>	<p>①農業戦略 農業戦略委員会会議において事務局案を説明し、おおかたの理解は得た。一部追加・修正を行い、会長に内容を確認してもらった(訂正内容は会長一任)。令和6年度第3四半期において完成させる。</p> <p>③新規就農促進 新規就農者数45名(対前年度比+5名) 【増加内訳】 4月0名、5月1名、6月1名、7月0名、8月0名、9月2名、10月0名、11月0名、12月1名、1月0名、2月0名、3月0名 ・農業次世代人材投資事業補助金交付件数1件、新規就農者育成総合対策補助金交付件数6件、益子町新規就農者支援事業費補助金交付件数3件、新規就農相談件数2件、新規就農者数0名。 ・新規就農相談2件は、いずれも町外から移住して新規就農を希望している。1名はいちご栽培、1名は施設園芸(中玉トマト栽培)を希望している。 ・今後は令和5年度の新規就農相談者へのフォローアップに努めるとともに、認定新規就農者への補助事業案内や経営計画のモニタリングを通じて、経営規模の拡大を支援していく方針である。</p> <p>④農の学校 卒業生10組(町内4組、町外6組) 卒業生全員が農の学校活動を踏まえ、益子町における今後の農業に関する取組を計画している。栽培した野菜を道の駅まじこで販売希望の受講生が多い。町外6組のほとんどが益子町移住を考えている。これらの方を支援するため、農地や空きハウス、研修先、住居などの紹介を行っていく。</p> <p>⑥ 小泉・本沼地区については、入山工区内の国有林野貸付の変更契約が2月上旬に完了し、引き続き工期内の完成を目指している。来年度は、補完工事等が予定されているので、引き続き関係機関と協力支援していく。 里西・星の宮地区については、国及び県において土地改良事業の計画承認がなされ、5月上旬には県営事業として着手予定である。引き続き地元役員・関係機関と協力し未相続の土地問題等を解決していく。</p>

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 なし</p>	<p>新規就農事業は、果樹・野菜・水稲と幅広く対応していくとともに、離農者が保有する居ぬき農業施設の活用も推進していく。</p> <p>農の学校の受講生は、半農半Xの農ある暮らしスタイルで益子町に移住を考えている方が多いため、農業だけでなく移住相談など複合的にワンストップで相談を受付できるように推進していく。</p> <p>小泉・本沼地区については、R6換地に向け県と連携し事業を進めていく。里西・星の宮地区については、R6事業採択に向けて、県・連合会・地元と協力して調整を行っていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課						
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる		政策	成長産業としての農業の育成と「食」のまちづくり					
施策	農と食のまちづくりの推進		進捗状況	100%					
関連する優先目標	3「仕事のあるまち」		関連するSDGs	—					
KPI	「食の学校」(仮)で新たに開発された商品の数(累計)		本年度目標値	5	現状値	8	対前年同期比	±0	
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月		①4/14 トキタ種苗と西洋野菜研究会との打合せ						
	5月	①飲食店との連携、ブランドとなる農産物の研究 ②「食の学校」の開催、町内産の農産物を使った新商品開発 ③町内農産物を使った6次産業化の支援	①女性農業者確保に関する国庫補助金の交付申請(西洋野菜研究会)						
	6月		①6/6 西洋野菜研究会が東京での商談会に参加 ①6/11佐野市ファーマーズマーケットマルシェ参加(西洋野菜研究会) ②食の学校推進に関する相談						
	7月		①7/18 西洋野菜研究会ミーティング ①7/24 西洋野菜研究会HP構築業務委託着手						
	8月	①飲食店との連携、ブランドとなる農産物の研究 ②「食の学校」の開催、町内産の農産物を使った新商品開発 ③町内農産物を使った6次産業化の支援	①8/2栃木県さつまいも研究会発足会議(益子町さつまいも研究会から3名参加) ①8/21益子町さつまいも研究会視察研修(笠間市、鉦田市) ①8/22西洋野菜研究会ミーティング ③8/8 6次産業化支援 ③8/25 6次産業化支援						
	9月		①9/8 西洋野菜研究会陶器市出店支援会議 ①9/19 西洋野菜研究会ミーティング ①9/28 西洋野菜研究会先進地視察研修(深谷市) ②9/19 食の学校推進に関する相談(ましこ加工所)						
	10月		①10/14 西洋野菜マルシェ販売(道の駅ましこ) 10/17 西洋野菜研究会ミーティング						
	11月	①飲食店との連携、ブランドとなる農産物の研究 ②「食の学校」の開催、町内産の農産物を使った新商品開発 ③町内農産物を使った6次産業化の支援	①11/3 マルシェ販売(陶器市) 11/7西洋野菜研究会 花装飾研修(道の駅ましこ) 11/16トキタ種苗研修会(埼玉県 大利根研究農場) 11/25 西洋野菜マルシェ販売(道の駅ましこ)						
	12月		①12/24 西洋野菜マルシェ販売(道の駅ましこ) ②12/14 第1回 食の学校セミナー開催(改善センター)						
	1月		②1/24 第2回 食の学校セミナー開催(中央公民館)						
	2月	①飲食店との連携、ブランドとなる農産物の研究 ②「食の学校」の開催、町内産の農産物を使った新商品開発 ③町内農産物を使った6次産業化の支援	②2/3 第3回 食の学校セミナー開催(中央公民館) ②2/17 第4回 食の学校セミナー開催(中央公民館)						
	3月		②3/2 第5回 食の学校セミナー開催(中央公民館) ②3/8 第6回 食の学校セミナー開催(中央公民館)						

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①西洋野菜研究会についてはブランド化に向け、商談会やマルシェに積極的に参加し、商品のPRを行った。 ②食の学校の運営については昨年度同様、㈱ましこカンパニーへ業務を委託し進めていく。㈱ましこカンパニーの組織改編の影響により、第1四半期は業務を進めることができなかつたため、第2四半期から具体的な打合せを行い、農産物の加工品開発に向けた加工技術や衛生管理等のセミナーの開催に向け、加速的に推進していく必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①西洋野菜のブランド化について 「ましこ西洋野菜研究会」として新たにホームページを構築することで業務委託を行った。業務完了後は定期的に情報発信を行い、女性目線での情報のビジュアル化に力を入れブランド化につながる魅力的なHP運営に心がける。また、生産体制は少量多品種を旨とし、女性活躍の視点から女性会員の増加につながるような取組を進めていく。 ②食の学校について 今年度は町内果樹で今後継承の可能性が高いブドウについて着目し、中間加工商品及びブドウグミの商品のふたつに絞り開発を進めていく予定である。ブドウの中間加工品としてはピューレ状にしたものの商品化を目指す。今まで廃棄していたブドウの有効活用と県内でブドウのピューレやグミを製造している所が無いことから、ご当地商品としてチャレンジしていく。 ③6次産業化支援(いちご) 吉村農園では自社のいちごを活用し今後、飲食事業を展開する予定である。また、町内のパン店では、ジャムはすべて地元生産品を活用した手作り。芳賀農業振興事務所で行っている「いい芳賀いちご夢街道」事業において、パンフレットやホームページへの紹介により支援していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①西洋野菜のブランド化について たくさん観光客が来町する陶器市をはじめ、道の駅ましこでの周年祭など、大型イベントの機を捉えて積極的にマルシェ販売を行った。その様な界もあって、宇都宮市内のフランス料理店から商談の話が生まれてきた。11/16には研究会員で埼玉県トキタ種苗 大利根研究農場を視察、多種多様な野菜の特徴や具体的な栽培方法、消費者から求められる安全性を学ぶことができた。 1月には飲食店との交流会や種苗会社との意見交換会を行う予定である。 ②食の学校について 12/14に食の学校セミナーを開催した、参加者は8名。道の駅ましこで、売れる加工商品としての、マーケティング分野を学んだ。1/24に加工技術に関するセミナーを行い、2/3, 2/17, 3/2, 3/8のスケジュールで進め、試作品の完成まで仕上げていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②食の学校について 最終的に参加者は4名となった。地元農産物を使った商品開発。赤飯、食べるラー油麴、チキンと大豆のスパイスカレー、とうもろこしのドレッシング、花形にんじんの水煮、黒酢入り果実シロップ、ごぼう茶等を開発中。商品が完成した際は、販売促進のため食の学校の運営の委託先である道の駅ましここと協力し宣伝活動などを行う。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 なし</p>	<p>①西洋野菜研究会のブランドとなる農産物の研究と販路の開拓を支援する。 ②食の学校は、農業者の参加を推進するとともに、食の専門家等の参加も検討する。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5 (2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課							
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる		政策	成長産業としての農業の育成と「食」のまちづくり						
施策	農産物の販路拡大		進捗状況	100%						
関連する優先目標	—		関連するSDGs	2 飢餓						
KPI	市町村別農業産出額		本年度目標値	36.6(R4)	現状値	29.1(R4)	億円	対前年同期比	+1.1	
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)				②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		4/14 トキタ種苗と西洋野菜研究会との打合せ							
	5月	①関係機関と連携、他地域への販売体制の強化 ②販売経路の多様化の促進、JETRO等関係機関と連携し海外へ販路を拡大 ③農産物の地産地消の推進、町内循環型経済を目指す	松廼家との包括連携協定 榊良品計画との打合せ 女性農業者確保に関する補助金の交付申請を行い、交付決定を受ける。							
	6月		②販路開拓支援補助金等新規補助金交付要綱の整備 ②農産物海外輸出セミナーに参加(6/27) ①加工用じゃがいも機械収穫実演会(6/28 芳賀町圃場)							
	7月		①7/28全国直売サミット参加打合せ(芳賀農振)							
	8月	①関係機関と連携、他地域への販売体制の強化 ②販売経路の多様化の促進、JETRO等関係機関と連携し海外へ販路を拡大 ③農産物の地産地消の推進、町内循環型経済を目指す	①とちぎの農産物イメージアップ食材提案会打合せ ③学校給食地元農産物活用打合せ(サツマイモ)							
	9月		①農業者と打合せ ②野菜買取会社とホウレンソウ栽培に関する会議 ②農産物買取事業者との連携							
	10月		①全国直売サミットの準備							
	11月	①関係機関と連携、他地域への販売体制の強化 ②販売経路の多様化の促進、JETRO等関係機関と連携し海外へ販路を拡大 ③農産物の地産地消の推進、町内循環型経済を目指す	①11/16～17全国直売サミットの開催							
	12月		②12/15～16 大田区大林寺外販							
	1月		なし							
	2月	①関係機関と連携、他地域への販売体制の強化 ②販売経路の多様化の促進、JETRO等関係機関と連携し海外へ販路を拡大 ③農産物の地産地消の推進、町内循環型経済を目指す	なし							
	3月		②東京都大田区大林寺外販の計画調整							

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>②販路開拓支援補助金や農業新技術新品種研修費補助金等の農業者向け新規補助金の交付要綱を整備した。今後はそれら補助金が効果的に使われるよう農業者へPRを図っていく。</p> <p>①ふるさと納税担当部署との連携を密にし、農産物の6次産業化商品やセット商品の開発も積極的に推進していく必要がある。</p> <p>①加工用じゃがいもについては、菓子メーカーが栃木県内生産物を買収する意向がある。栃木県では現在18haしか栽培しておらず、今後100haを目標としている。今年度、小泉圃場整備地内では1haを耕作しており、小泉本沼集落営農組合に契約栽培面積の拡大を働きかける。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①全国直売サミットについて 今年度は栃木県で開催される。開催日は11/16～17。16日の夜に宇都宮駅東口ホテルにおいて懇談会が開催され、県内の食材を使った食事が用意される。食材について本町では、時期的やブランド化を考慮し西洋野菜を推薦した。全国参加者へのPRとして、「ましこ西洋野菜研究会」の冊子を県事務局に送る予定である。2日目の17日は県内を4つのエリアに分割し、道の駅を巡るツアーが企画される。</p> <p>①「とちぎの農産物イメージアップ食材提案会」への参加 都内レストラン(15店舗)が12月と2月の2か月間、オールとちぎ食材特別メニューを開発提供。それに向けての食材提案会を、10月16日道の駅はがで開催。町内業者に参加依頼を行った。提案会には農政課も参加する予定。</p> <p>②加工用ホウレンソウ栽培について 芳賀町の野菜買取会社から、ましこ西洋野菜研究会へホウレンソウ生産の依頼があった。筑西市に野菜の冷凍施設が新設されたことから、比較的距離の近いましこ西洋野菜研究会に目が向けられた。対象者は4名。生産規模は2ha、3t。出荷計画では12月7日から2月29日までの毎週木曜日に運送会社が4t車で受取りに来る。集荷施設は前沢の中野運輸倉庫。</p> <p>②農産物買取事業者との連携について 9月末にましこ西洋野菜研究会のパンフレットを目にし関心をいただいた。西洋野菜の生産圃場を見学希望しており、11月下旬に調整している。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①全国直売サミットについて 初日に宇都宮市でシンポジウムや分科会が行われた。本町からは広田町長はじめ、上田係長、高橋支配人が参加した。全国参加者との交流がメインであり、夕食会ではオール栃木県産の食材が使われた料理が提供され、参加者から高評価を得ることができた。</p> <p>二日目は県内道の駅25箇所を4分割し、直売所を巡るツアーが実施された。道の駅ましこは今回、昼食会場となった。</p> <p>②販売経路の多様化について 12/15～16 東京都大田区大林寺において外販を行った。販売者は道の駅ましこ。10年継続のイベント型外販であり、客の約8割はリピーターである。2日間で約85万円の売り上げ。ねぎ、卵、葉物が順調に売れた。多くの方から里芋の問い合わせがあったが、気象条件の関係で今年は里芋の販売ができなかった。今後は時期を見て果樹の予約販売も検討すれば、益子町の魅力ある農産物のPRになると期待する。</p> <p>茨城交通貨客混載事業については、農産物買取事業者が西洋野菜に関心を抱いていたが、圃場見学に関し未調整の状況である。今後の野菜の生育状況を見て、日程調整を進めていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②4/6(月)外部販売予定(東京都大田区大林寺) 主催者:道の駅ましこ生産者協議会 約50万円の売り上げを見込む。定番事業となっており、本町農産物や加工品を楽しみにしている区民は多い。継続して取り組む価値はあるが、生産者協議会の高齢化と世代交代による従事者の減少が大きな課題であるため、若い世代の多い西洋野菜研究会の方などにも事業の周知をし新たな従事者の掘り起こしを行っていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 以前やさものライナー(高速バス)で、農産物を秋葉原に運ぶ事業を行ったが、通年で、販路、流通の開拓を検討する必要があると思われる。</p>	<p>県の「とちぎいいものバスツアー&商談会」等の事業を活用し、首都圏のバイヤーに益子産農産物の売り込みを行う。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課						
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる		政策	観光の基幹産業化					
施策	観光基盤の整備		進捗状況	100%					
関連する優先目標	—		関連するSDGs	—					
KPI	観光客入込数		本年度目標値	250	現状値	255 (R5)万人	対前年同期比	+7	
KPI	観光客宿泊者数		本年度目標値	40,000	現状値	35,885 (R5)人	対前年同期比	△3,258	
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月	①-1インバウンド誘客事業	①-1 「near by tokyo」サイトでの英語圏への益子町の情報発信 ①-2 宿泊98人 ギャラリー17人 ①-3 4/18 まるごとクーポン打ち合わせ実施 ③ 事業者と予算、事業内容等について打ち合わせを行った。						
	5月	①-2ましこ悠和館宿泊、ギャラリー運営事業 ①-3益子まるごとクーポン事業 ②サイクルツアー造成事業(DMO) ③多言語化案内看板の作成	①-1 「near by tokyo」サイトでの英語圏への益子町の情報発信 ①-2 宿泊115人 ギャラリー19人 ①-3 5/17 まるごとクーポン打ち合わせ実施 ③ 5/24 観光協会広報委員会にて多言語化案内看板の内容について協議を行った。						
	6月	③多言語化案内看板の作成	①-1 事業者と予算、事業内容等について打ち合わせを行った。 ①-2 宿泊46人、ギャラリー18人(推計)						
	7月	①-1インバウンド誘客事業	①-1 7/23 事業者と事業内容について打ち合わせを行った。 ①-2 宿泊60人 ギャラリー9人 ①-3 7/15～日帰り観光向けクーポン券1回目販売 ③ 7/27 事業者と事業内容等について打ち合わせを行った。						
	8月	①-2ましこ悠和館宿泊、ギャラリー運営事業 ①-3益子まるごとクーポン事業 ②サイクルツアー造成事業(DMO) ③多言語化案内看板の作成	①-2 宿泊72人 ギャラリー13人 8/13下野新聞に平和のギャラリーの「平和を考える絵本展」の記事掲載。 ③ 8/10観光協会広報委員会にて多言語化案内看板の内容について協議を行った。						
	9月	③多言語化案内看板の作成	①-2 宿泊73人 ギャラリー58人 ①-3 9/15まるごとクーポン打ち合わせ実施						
	10月	①-1インバウンド誘客事業	①-1 10/13 事業者と事業内容について打ち合わせを行った。 ①-2 宿泊71人 ギャラリー35人 ①-3 10/1～日帰り観光向けクーポン券2回目販売 ③ 10/13 観光協会広報委員会にて多言語化案内看板の内容について協議を行った。						
	11月	①-2ましこ悠和館宿泊、ギャラリー運営事業 ①-3益子まるごとクーポン事業 ②サイクルツアー造成事業(DMO) ③多言語化案内看板の作成	①-1 11/15 インバウンド誘客促進事業について委託業者と業務委託契約を締結した。 ①-2 宿泊77人 ギャラリー26人 ③ 11/22 観光協会広報委員会にて多言語化案内看板の内容について協議を行った。						
	12月	③多言語化案内看板の作成	①-1 12/23、28 委託業者と町内モニターツアーを実施した。 ①-2 宿泊25人 ギャラリー46人 ①-3 12/1～日帰り観光向けクーポン券3回目販売 ③ 12/15 観光協会広報委員会にて多言語化案内看板の内容について協議を行った。						
	1月	①-1インバウンド誘客事業	①-1 1/22 委託業者とWEBページ、チラシについて打ち合わせを行った。 ①-2 宿泊10人 ギャラリー13人 ①-3 ③ 1/29 多言語案内看板について業者との打ち合わせを行った。						
	2月	①-2ましこ悠和館宿泊、ギャラリー運営事業 ①-3益子まるごとクーポン事業 ②サイクルツアー造成事業(DMO) ③多言語化案内看板の作成	①-1 2/1インバウンド誘客促進業務完了 ①-2 宿泊57人 ギャラリー27人 ①-3 ③ 2/9 観光協会広報委員会にて多言語化案内看板の内容について協議を行った。 2/29 多言語案内看板設置完了						
	3月	③多言語化案内看板の作成	①-1 3/19 インバウンド事業について業者と打ち合わせを行った。 ①-2 宿泊78人 ギャラリー11人 ①-3 3/6まるごとクーポン打ち合わせ実施						

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①-1 「near by tokyo」サイト上で英語圏への情報発信を行っている。次期以降今年度の事業について詳細な打ち合わせを行う。 ①-2 昨年度からましこ悠和館の平和のギャラリーの常設展として「平和を考える絵本展」を実施している。次期は8月の終戦の時期に合わせたPRを行うなど入館者を増やすための工夫が必要である。 ①-3 まるごとクーポン事業については、日帰りクーポンの販売場所増設等、観光客の方へのアプローチがより効果的になるよう努める。 ③ 必要に応じて多言語化パンフレット等の作成を検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①-1 インバウンド誘客事業について事業者と打ち合わせを行い、いくつか事業の提案があった。次期以降事業実施に向けて進めていく。 ①-2 平和のギャラリーの常設展として「平和を考える絵本展」を実施しており、8月の終戦の時期に合わせて新聞記事掲載を行った。また団体の視察もあり、入場者が増える形となった。引き続き入館者を増やすための工夫を行う。 ①-3 まるごとクーポン事業については、7/15から日帰りクーポン券の1回目の販売を行った。売れ行きは好調で、翌日に完売となった。2回目以降の販売についても好調な売れ行きを期待できる。また、宿泊クーポン券についても概ね良好な滑り出しとなっている。クーポン券を幅広く有効に利用いただけるよう事務局との連携をさらに深めていきたい。 ③ 現在観光協会の広報委員会とともに町内の案内看板改修のための打ち合わせを行っている。今期以降も案内看板改修のための協議を進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①-1 インバウンド誘客事業について事業者と契約を締結し、インバウンド向けに益子を楽しむモデルルート作成に着手。ルートを作成し、外国人によるモニターツアーを実施。次期にWEBページやチラシの完成を目指す。 ①-2 団体の視察が続き、前年度よりも入館者が増える形となった。次期は例年入館者数が少なくなる時期のため、入館者を増やすための工夫を行っていく。 ①-3 まるごとクーポン事業については、10/1から2回目の販売、12/1から3回目の販売を行った。売れ行きは好調で、数日間完売となった。また、宿泊クーポンにおいても、概ね良好であるとのこと。クーポン券の期間内での有効活用のため、事務局と情報共有し連携を強化していきたい。 ③ 観光協会の広報委員会とともに町内の案内看板改修のための打ち合わせを継続。次期に看板印刷、改修工事を行う。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①-1 インバウンド誘客事業についてインバウンド向けに益子を楽しむモデルルートを設定し、PRのためのWEBページ、チラシを作成した。次年度以降、作成したWEBページ、チラシを使ってインバウンド向けにPRを行っていく。 ①-2 各期で団体の視察が続いたため、前年度よりもギャラリー入館者が増える形となった。引き続き(株)ましこカンパニーと協力し、入館者を増やすための工夫を行っていく。 ①-3 まるごとクーポン事業については、コロナ禍の観光誘客事業として開始したものであり、一定の成果を得られたと考えられることから、R5年度にて事業終了とする。 ③ 観光協会の広報委員会において協議を重ね、町内の案内看板8箇所の改修を行った。英語、中国語、韓国語の3か国語表示となったため、インバウンド誘客への基盤整備を行うことができた。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 B:改善・見直し ○ C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 登録DMOとして認定されたので、あらためて益子町観光戦略を策定し、組織実施体制を整えると良いのではないかと。個人的には、外国人(インバウンド)向けのプロモーションが出来るようになるといいと思う。</p>	<p>登録DMOとして、認定された一般社団法人ましこラボと連携し、観光戦略策定について、今後検討していきたい。また、外国人(インバウンド)向けのプロモーション等についても引き続き取り組んでいきたい。</p>

第3期まじこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【計画・実施状況シート】

		課局名	観光商工課						
基礎目標	2 風土に根ざした産業をつくる	政策	観光の基幹産業化						
施策	DMOを核とした観光地域づくり	進捗状況	100%						
関連する優先目標	3「仕事のあるまち」	関連するSDGs	—						
KPI	町外のmashipoカード会員数(町外の顧客)	本年度目標値	12,000	現状値	11,140	人	対前年同期比	+1,448	
KPI	ツアー参加者数(累計)	本年度目標値	1320	現状値	145	人	対前年同期比	+100	
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月	①-1 観光振興事業 ①-2 補助金事業(DMO)	①-1 4/13 観光実務者会議開催。各観光関係団体の顔合わせを行った。 ①-2 観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業補助金」について、まじこラボが事業主体となり申請 ②-1 4/29～5/7 陶器市を開催。期間中來場者数約358,000人 ②-2 ラーニングパッケージ「合鴨と育てるお米づくりを知り、食す会」申請受付。5.6.9.12月実施予定 ⑤ 雨巻山での植物盗掘の情報提供あり。雨巻山登山道の管理を行っているいくべ会や所有者である日光森林管理署等へ情報を共有。後日盗掘防止を呼びかける看板を設置した。						
	5月	②-1 陶器市支援事業 ②-2 ラーニングパッケージ事業 ③ かさましこ観光協議会事業(生涯学習課)	①-1 5/18 観光実務者会議開催。各観光関係団体とともに陶器市の振り返りを行った。 ①-2 5/12 観光庁「地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業補助金」申請 5/30 観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業補助金」採択決定 ②-1 4/29～5/7 陶器市を開催。期間中來場者数約358,000人 ②-2 ラーニングパッケージ「受け継ごう益子の手仕事2022」申請受付。7.10.1月実施予定						
	6月	④ グリーンツーリズム推進 ⑤ 雨巻山登山整備事業	①-1 6/15 観光実務者会議開催。各観光関係団体の年間事業計画について情報交換を行った。 ③ 6/7 日本遺産活用事業である「かさましこ日本遺産活性化協議会事業」の文化振興ワーキンググループ会議に出席、6/21 同事業のかさましこ日本遺産活性化協議会総会に出席 ⑤ 6/23 雨巻山の国からの貸与部分について、雨巻山登山道の管理を行っているいくべ会や所有者である日光森林管理署と現地確認						
	7月	①-1 観光振興事業 ①-2 補助金事業(DMO) ②-1 陶器市支援事業	①-1 7/13 観光実務者会議開催。各観光関係団体の紙媒体の制作物の状況について情報交換を行った。 ②-3 7/23.24.25 祇園祭開催 ②-2 7/30 ラーニングパッケージ「受け継ごう益子の手仕事2023」開催、10名参加						
	8月	②-2 ラーニングパッケージ事業 ②-3 イベント支援事業 ③ かさましこ観光協議会事業(生涯学習課) ④ グリーンツーリズム推進	①-1 8/23 観光実務者会議開催。各観光関係団体のWEBサイトやSNSの状況について情報交換を行った。 ②-3 8/11 益子夜市開催						
	9月	⑤ 雨巻山登山整備事業	①-1 9/12 観光実務者会議開催。パンフレット統合やWEBサイト統合について協議した。 ①-2 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業(2次募集)が採択決定。 ②-2 9/23 ラーニングパッケージ「合鴨と育てるお米づくりを知り、食す会」開催。5名参加 ⑤ 雨巻山のタイタニック岩についていくべ会と協議を行った。						
	10月	①-1 観光振興事業 ①-2 補助金事業(DMO)	①-1 10/19 観光実務者会議開催。各観光関係団体の状況について情報交換を行った。 10/13 観光パンフレットの統合について関係者と協議を行った。 10/30 DMOとよしざわ窯、道の駅によるお土産開発事業のクラウドファンディングを開始 ②-1 10/20 渋谷QWSにて陶器市PRを実施 ②-2 10/22 ラーニングパッケージ「受け継ごう益子の手仕事2023」開催、8名参加						
	11月	②-1 陶器市支援事業 ②-2 ラーニングパッケージ事業 ②-3 イベント支援事業	①-1 11/8 DMOとよしざわ窯、道の駅によるお土産開発事業のクラウドファンディングが目標(100万円)を達成 ②-1 11/3～11/4 陶器市を開催。期間中來場者数約178,000人 ②-3 11/18 町民祭り開催。交流都市である米沢市の出店支援を行った。 ⑤ 11/20 いくべ会とタイタニック岩の地図掲載について打ち合わせを行った。 11/25 タイタニック岩までのルート案内看板を設置						
	12月	③ かさましこ観光協議会事業(生涯学習課) ④ グリーンツーリズム推進 ⑤ 雨巻山登山整備事業	①-1 12/21 観光実務者会議開催。各観光関係団体の状況について情報交換を行った。 12/10 DMOとよしざわ窯、道の駅によるお土産開発事業のクラウドファンディングが終了(最終寄付額235万円) 12/6 益子のご当地ガチャガチャ制作について参加事業者説明会を実施 ①-2 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業においてツアー造成。12/5から販売開始。2月に実施予定 ②-2 12/2 ラーニングパッケージ「あいがもとそだてるおこめ」開催、5名参加 ③ 12/13 日本遺産推進ワーキンググループ会議開催 ⑤ 12/9 トレラン益子開催、参加者170名						
	1月	①-1 観光振興事業 ①-2 補助金事業(DMO) ②-1 陶器市支援事業	①-1 1/24 観光実務者会議開催。各観光関係団体の状況について情報交換を行った ①-2 1/12 まじこラボ登録DMO申請 ②-2 1/14 ラーニングパッケージ「受け継ごう益子の手仕事2023」開催。11グループ参加 1/28 ラーニングパッケージ「受け継ごう益子の手仕事2023」開催、14グループ参加 ③ 1/17 かさましこ日本遺産活性化協議会全体会議開催						
	2月	②-2 ラーニングパッケージ事業 ②-3 イベント支援事業 ③ かさましこ観光協議会事業(生涯学習課)	①-1 2/22 観光実務者会議開催。各観光関係団体の状況について情報交換を行った。 ①-2 2/3.4 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業ツアー実施、16名参加 2/15 まじこラボが申請主体となり、観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」に応募 ⑤ 2/15 雨巻山マップ改訂(タイタニック岩へのコースを追加)						
	3月	④ グリーンツーリズム推進 ⑤ 雨巻山登山整備事業	①-1 3/21 観光実務者会議開催。各観光関係団体の状況について情報交換を行った。 ①-2 3/25 観光庁オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業採択 3/29 まじこラボが登録DMOへ登録 ⑤ 3/29 雨巻山駐車場の雨巻山マップ看板改修(タイタニック岩へのコースを追加)						

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①-1 今年度から観光実務者会議が定期的開催されることとなった。観光関係団体間の連携強化、実務重複の洗い出し等を行っていく。 ①-2 補助金事業(DMO)については、関係団体(商工会・観光協会等)と連携を深め、円滑な事業遂行を目指す。 ②-1 春の陶器市が開催されたが、駐車場等いくつか課題が出たため、秋に向けて観光協会と対応を協議していく。 ②-2 ラーニングパッケージン事業については、引き続き募集を継続する。また、次期以降は新規実施者の掘り起こしも必要である。 ⑤ 雨巻山については関係団体と連携し、引き続き登山道の整備等を行っていく。12月に「トレラン」の開催も決定しており、今後も登山以外の雨巻山の活用を進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①-1 定期的に観光実務者会議を開催。引き続き観光関係団体間の連携強化、実務重複の洗い出し等を行う。 ①-2 補助金事業(DMO)については、観光庁のインバウンド関係の補助金の採択が決定した。事業主体と連携を深め、円滑な事業遂行を目指す。 ②-2 ラーニングパッケージン事業は、引き続き募集を継続する。新たな実施者確保に向け関係者に声掛けを行う。 ②-3 祇園祭、益子夜市が開催となった。駐車場等課題が出たため、関係者に情報共有を行い次回開催に活かしていく。 ⑤ 雨巻山については関係団体と連携し、新たなルート(「タイタニック岩」までのルート)の案内を新たに整備する。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①-1 定期的に観光実務者会議を開催。各団体が制作しているパンフレットについて精査を行い、地図やパンフレットなどを一部統合することとした。また、DMOを中心に土産開発事業や町のご当地ガチャガチャ制作が進行。引き続きDMOと連携し、各事業遂行に必要な支援を行う。 ①-2 補助金事業(DMO)については、関係団体(DMO・観光協会等)と協力し、ツアーを造成。2月のツアー実施に向け、連携を強化していく。 ②-1 秋の陶器市が開催されたが、駐車場や渋滞等の課題が出た。次期以降春の陶器市開催に向けて新たな駐車場の確保等必要な対策を行う。 ②-2 ラーニングパッケージン事業については、引き続き募集を継続しているが新規実施者が見つからない状況である。次年度以降は事業継続の可否について検討が必要である。 ⑤ 雨巻山を中心に8回目となるトレラン益子が開催された。大きな事故等なく無事に終了した。また、タイタニック岩までの新たな案内看板を整備し、新たなルートが誕生した。引き続き関係団体と連携し、登山道の整備等を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①-1 定期的に観光実務者会議を開催。会議構成員が連携し、情報共有、事業の洗い出しを行った。引き続き会議を実施し、今後は観光戦略・戦術づくりを行っていく。 ①-2 ましこラボが登録DMOに登録された。また、ましこラボが申請主体となり「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業補助金」、「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」、「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」といった観光庁補助金を申請し、それぞれ採択された。今後もましこラボと連携し、戦略的な観光振興を推進していく。 ②-1 春・秋の陶器市を開催したが、どちらも駐車場や渋滞等の課題が残った。次年度は臨時駐車場の確保や、混雑状況の見える化等の対策を行う。 ②-2 ラーニングパッケージン事業については、新規実施者が見つからず、実施主体が固定化している。また、全体的に見ると住民自らが主体となって取り組む地域づくり、地域の自立、活性化という当初の目的をある程度達成できたと考えられるため、次年度以降事業は継続しないこととする。 ②-3 祇園祭、益子夜市を開催した。それぞれのイベントで出た課題を関係者に共有し、次回開催に活かしていく。 ③ かさましこ日本遺産活性化協議会については、生涯学習課と連携し、引き続き事業を実施していく。 ⑤ 関係団体と連携し新たなルートを整備し、雨巻山マップ、看板も修正を行った。今後も関係団体と連携し魅力ある山となるよう整備等を行っていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了</p> <p>意見・提言 なし</p>	<p>観光実務者会議等を有効活用し、積極的な情報共有を行い、観光関係団体の協力体制の構築と連携強化に努めたい。</p>